

官民連携により水辺とまちの一体的空間づくりを実現

北十間川かわまちづくり(東京都墨田区、荒川水系北十間川)

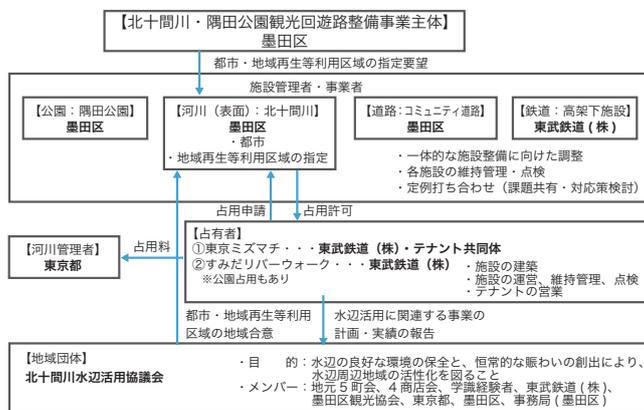


評価ポイント

- ★ 民間企業の積極的な関与により、官民が連携して水辺の利活用を考えた工夫あるハード整備を都心部において実現したことはとても高く評価できる。
- ★ 観光拠点を結ぶ新たな動線や商業施設が生まれ、今後さらなるにぎわいの創出が期待できる。
- ★ 行政、民間事業者、地元町会・商店会など様々な事業者が「Design Guideline」を設定し、地区全体のデザインの指針としてまとめて共有し、一体的空間を実現したことは他の地区の参考となる。

取組内容

- ✓ 水辺とまちの一体的空間を実現
官民連携により、水辺・鉄道高架下・道路・公園が隣接する立地を生かした一体的空間づくりを実現。
- ✓ 民間のハード整備により観光拠点間の回遊性を向上
都市・地域再生等利用区域の指定により、河川敷地内に遊歩道、商業施設等の利活用を考えたハード整備を行うことで観光拠点間の回遊性の向上を図り、新たな賑わいを創出。
- ✓ 関係機関による継続的な議論
水辺の良好な環境保全及び恒常的な賑わい創出により地域の活性化を図ることを目的として、住民、関係機関とともに継続的な議論を実施。



計画名称 北十間川かわまちづくり

推進主体 墨田区、東武鉄道(株)、北十間川水辺活用協議会

登録年度 令和元年度

問合せ先 墨田区都市整備部都市整備課